

3 進行管理についての質疑応答及び意見

基本方針 共に学び、多くの人とかかわり合いながら自立する子どもを育成します

施策の柱 確かな学力の向上

1 1 1 「教育課程推進事業」

<委員からの質疑> 共同研究を 2 校共同と 3 校共同で実施したとありますが、どのようなテーマで実施したのでしょうか。

<回答：教育指導課> 2 校共同は大清水小学校と大清水中学校で、「ともに学び、ともに育つ大清水地区教育連携推進」をテーマに実施しました。外国語の授業を中学校教員が小学校に行って支援するといった交流や、藤沢清流高校を含め 3 校で美化活動、学校図書館を使っての交流を実施しました。3 校共同は、善行小学校、大越小学校、善行中学校で、小中一貫教育を視野に入れた学力向上をテーマに実施しました。楽しい授業作りを中心に、中学生による小学生への読み書かせや、小学生の夏休みの課題を中学生と一緒にするという「学び」で研究している状況です。

<委員からのご意見> 共同研究のテーマが、共同だからこそできる連携がテーマとなっており、さらなる異校種の連携、小学校の児童と中学校の生徒との交流などに期待が持てると感じました。

1 1 2 「国際教育推進事業」

<委員からの質疑> 年次の取り組みの中に、小学校外国語英語の教科化に向けた指導方法等の研修という新しい取り組みが入っていますが、予算額は減となっています。これは何か理由があるのですか。

<回答：教育指導課> 3 年計画で、中学校の英語教員が小学校に出向いて、全教員に対して外国語の授業の進め方の研修を行う予定です。中学校教員を小学校に派遣するにあたり、校外に出ますので、中学校英語教員の業務負担軽減ということから、授業時数の軽減を図っています。その後追いの非常勤講師を配置するために、人件費を FLT（外国語講師）の事業費の一部を流用して実施しています。そちらの分については学務保健課のほうにつけかえをして実施しているため、事業費が減となっています。

<委員からのご意見> 小学校における外国語（英語）学習が、児童にとって楽しく国際的な視点をもつことにつながることを期待しています。また、研修において、中学校の先生方と小学校の先生方の交流が活性化され、児童・生徒の学習に効果が現れることを期待しています。

<委員からのご意見> 平成 32 年度小学校外国語（英語）教科化に向けて様々に工夫されて研修を行っているとのことですが、研修の中心を担うような専科教諭を各校最低 1 人でも配置できないものかと思えます。

施策の柱 豊かな心と健康な身体を育む教育の推進

1 4 2 「児童生徒指導関係事業」

<委員からの質疑> 児童支援担当教諭について、成果はどのようなものがあったのか、サポ

ート会議のメンバーはどのような方なのか、中学校の生徒に関してこのような問題は誰が当たるのか、これらについて伺いたいと思います。

<回答：教育指導課> 児童支援教諭の配置に伴う成果ですが、たとえば、登校しぶりのお子さんで、なかなか教室に入れなため学校に向かう足が重たい状態にあるといった場合に、家まで迎えに行き一緒に登校するなど、個別に課題を抱えるお子さんへの支援等が充実しているところあげられます。また、課題に対して学校がチームとして対応していけるように、校内での情報の共有、必要な関係機関と連携しながら支援体制作りをするところ、校内の指導支援の体制というものが非常にしっかりと作られるようになってきています。さらに担任のフォローも行いますので、若い教員が増えてきている状況の中で若手教員の力量の向上にもつながっているととらえています。サポート会議のメンバーですが、主なメンバーは警察関係者、児童相談所、青少年指導員、主任児童委員等で、ケースによっては市民センター・公民館の職員、PTAの方、地域の支援者の方など、その学校の状況によって必要な方に入ってもらって形で対応しています。中学生に対する児童支援にあたる場所は、中学校は生徒指導担当者が位置づけられています。

<委員からのご意見> 児童支援担当教諭について、早期に全校配置をし、課題を抱える子どもたちへのきめ細やかな支援ができるようお願いしたいと思います。

<委員からのご意見> 専任の児童支援担当教諭を配置することにより、クラスを運営している教諭が授業に専念でき、課題を抱えた児童にとっても対応をきちんと行える専任者が対応することは問題の早期解決につながることを期待できます。担任が一人で抱えがちだった問題を多くの取り巻く関係者が連携してきめ細やかにサポートしてほしいと思います。

143「八ヶ岳野外体験教室の充実事業」

<委員からの質疑> 昨年度、一般市民の利用拡大を推進していくことを掲げていたと思いますが、結果としてどうなったか教えてください。

<回答：教育総務課> 一般市民利用は、平成25年度が9,215人、平成26年度が9,303人、平成27年度9,839人と順調に伸びてきましたが、昨年度は9,477人とマイナス362人という結果になりました。減った理由としては、夏の団体利用において、間際での人数変更があったことの影響が大きいとのことでした。何か大幅に状況が変わったところはないですが、結果として数が減ってしまったということです。

<委員からのご意見> 一般利用者と呼ぶ取組が十分に成功していないようです。そもそも、あるということ知らない方がまだ多くいると思います。これについては、今後とも強化を進めて頂きたいです。

<委員からのご意見> 市民の一般利用について、まだまだ利用できるということ自体をご存知ない市民が多くいるので、引き続き周知をしていただきたいと思います。利用されたご家庭からは、また再度利用したいという声をよく聞きます。利用料の安さも、リピーターにつながっていると思います。

施策の柱 子どもと社会をつなぐ教育の推進

168「子ども・若者育成支援事業」

<委員からの質疑> 年次ごとの取り組み計画で支援実施者数が常に 100 人となっている理由について、平成 29 年度の事業の中に「若者に対する総合相談的機能を位置づけ、若者サポート事業とする見直しを行った」とありますが、具体的には相談的機能としてどのように構想されているのかについてお伺いしたいと思います。

<回答：教育総務課> 青少年課が出席していないため当課でお答えいたします。この事業は平成 25 年度から開始し、実績が、平成 25 年度は 95 人、平成 26 年度が 108 人、平成 27 年度が 99 人と開始時からほぼ 100 人でしたので、この実績を継続していきたいということで 100 人という数にしています。若者に対する総合相談的機能ですが、今年度、市役所で組織改革があり、経済部産業労働課所管事業ユースワークふじさわの一部機能が青少年課へ移管されたこともふまえて、就労に限らない様々な悩みをかかえる若者とその家族に対して相談をお受けする総合的相談機能として入り口を広げて充実させていきたいという考えです。

<委員からのご意見> 本事業は、若者とその家族を支援する重要な事業だと思います。社会的自立はとても大きな課題ですが、より多くの人々が気軽に相談できるように、訪問支援等の体制をさらに整えていくことも検討していただきたいと思います。

基本方針 家庭教育・幼児教育・地域教育力の支援、充実を図ります

施策の柱 教育機会の均等保障

2 4 2 「生活困窮者自立支援事業（学習支援）」

<委員からの質疑> 平成 28 年度の進捗状況の中で、鵜沼地区における課外授業の回数が他の地区に比べて多くなっていることについて何か理由がありましたら教えてください。また課題・問題点のところで開所日数や時間について検討とありますが、どのように検討されているか教えてください。

<回答：地域包括ケアシステム推進室> 課外授業の回数ですが、課外授業はどの教室も NPO が実施していて、自主的に地域との繋がりの中でそれぞれの課外授業を展開しています。鵜沼地域の場合、たとえば、ちゃぐりんスクールや、さつまいもスクールなどは JA さがみの協力のもと農業との連携で課外授業を展開しているので回数が多くなっています。課題については、利用者も相対的に増えていくということもあり、学習支援、進学支援、就学を継続する支援など居場所になるような試みや、時期によっては進学のために集中したいということもあり、どのような形で、どのような時間帯で、あるいは開所日数を弾力的に展開していただけるのかといったあたりが課題となっています。

<委員からの質疑> 委託は NPO 法人が 2 つありますが、どの地区にどの NPO かということと、鵜沼地区の課外事業が多いのは地域の協力があつたということですが、各 NPO 法人の取り組み状況を伺えたらと思います。

<回答：地域包括ケアシステム推進室> NPO 法人青少年サポート協会が六会と湘南大庭の 2 箇所の運営を行い、NPO 法人湘南ライフサポート・きずなが鵜沼地区を行っています。六会と湘南大庭は日大藤沢の学生たちにかなり協力してもらって事業をしています。養豚所からいた

だいたひ藤沢産の豚肉を食べ、そのお礼を養豚業者に差し上げるなど、様々な形で取組を行っています。また、鵜沼地区では、JA さがみさんとの連携や、場所が教会ということもあり、外国に繋がりのある子どもたちが多いため、そういうことを含めたうえでの支援を大事にして様々な方にボランティアの協力をしてもらっています。それぞれの地域・設置母体ならではの特色を生かして運営している状況です。

<委員からのご意見> 業務委託している NPO が活動している地域以外の子どもたちに支援が届いているのか、その点が心配です。より多くの子どもたちが支援を受けられるように、事業を進めていっていただきたいと思います。

<委員からのご意見> 地域の協力により課外事業がとて多くなり、交流が増えることはとてもよい取組だと感じました。NPO 法人ごとに異なるのは当然かもしれませんが、地域の特色を生かしつつも、さらに学習支援がすべての地域にわたって充実するように期待しております。

基本方針 学校教育を充実させる人的、物的条件整備を図ります

施策の柱 学びを支え質の高い教育環境の整備

3 1 1 「特別支援教育整備事業」

<委員からの質疑> 先進的な他市の特別支援学校を視察したとありますが、どのような部分を解決策に取り入れたのでしょうか。

<回答：教育指導課> 昨年、川崎市立の特別支援学校を視察しました。従来の小学校を統廃合して空いた校舎を特別支援学校に改築して使用している学校と、通常の小学校に分教室という形で特別支援学校の一部を設置している学校を視察しました。教員の人的配置や、施設面ではどのような工事が必要になるか、工事を行う際の予算などを視察しました。本市の白浜養護学校が過大規模化しており、その解消に向けて、本市がどのような手法で対応していくのがよいかを現在検討しています。

<委員からのご意見> 先進市の取組を視察、研究することにより、本市の特別支援学校の過大化に対しての問題解決に向けて、検討が進んでいくことを期待しています。

施策の柱 安全・安心で快適な学校施設の整備

3 3 1 「学校安全対策事業」

<委員からの質疑> 学区内で非常事態があった場合、近隣周辺学校間やスクールガードリーダーとの連携についてどのように行われているのかお伺いします。また、各学校の方法ということになるのかも知れませんが、保護者への連絡方法や地域防犯協力者・団体との連携はどのようにしているのでしょうか。

<回答：教育指導課> 主に不審者が目撃された場合になりますが、学校にそのような情報をもたらされた場合は、まず警察に連絡を入れ、不審者の捜索やパトロールを依頼するとともに警察の指示を仰ぎます。次にスクールガードリーダーに連絡を入れ、学区内パトロールをお願いします。本市の場合、スクールガードリーダーは、各市民センターなどで行われている防犯会議等に出席しているため、地域の防犯協会とも連携しています。保護者に対しては、

以前は緊急連絡網を流しましたが、最近では一斉送信メールを使って子どもたちをどのように帰すとかまたは帰さないとか、そのようなことを連絡しています。また、学校は市の教育委員会にも連絡を入れることになっています。教育指導課と防犯交通安全課に連絡を入れるようにしていますし、隣接している学区に不審者が逃げこむこともあるので、近隣の小中学校に連絡を入れるということもしています。

<委員からのご意見> 地域や学区の中で生活する子どもたちは、兄弟で幼小中と別れて通学していたりするので、災害時や事件発生などの時の引き取り順位など日ごろから検討の必要もあつたりすると思います。引き続き、近隣地域全体としてとらえた子どもの安全対策をお願いしたいと思います。

<委員からのご意見> 働いている保護者にとって、どうしても日中の子どもたちの様子を把握できない中で、このように子どもたちの安全対策を取っていただいていることはとても安心するものだと思います。ぜひこれからも取組をお願いしたいと思います。

336 「学校給食食器改善事業」

<委員からの質疑> 食器の変更を行っているということですが、アルマイト食器とPEN樹脂食器の利用について、具体的にどのような声があるのか教えてください。

<回答：学校給食課> 実際に切り替えをした学校の児童の反応では、PEN樹脂食器はとても綺麗でかわいらしい模様が入っていますので、外観が綺麗になったという喜びの感想がありました。また、アルマイトの食器では汁ものをよそう時に熱くて手に持てなかったけれども持てるようになったことや、実際に食器を改善する理由である、「手に食器を持って食べなさいと指導をしても熱くて手に持てない状況」が、持てるようになったということです。先生方に聞いてみたところ、PEN樹脂食器であれば手に持って食べなさいと正しく指導できるので、食指導がしやすくなったという感想をいただきました。

<委員からのご意見> 実際の利用者の声を聞くことができ、食器利用の変更が、給食指導を充実させることになったことが分かりました。これからも安心安全な食の環境整備に期待しています。

338 「防災対策事業（津波対策）」

<委員からの質疑> 学校の増築をしましたが、具体的な実施期間を教えてください。

<回答：学校施設課> 設計事業を平成26年11月から平成27年8月まで実施しました。増築工事は平成27年12月に着手して、平成29年2月末に完了しました。

<委員からの質疑> 中学校の敷地内に建っていると思いますが、増築の期間、学校の授業は実施されていたということになりますか。その際に、何か工夫をしたり、授業に配慮をしたりするなどした点がありましたら、教えてください。

<回答：学校施設課> 敷地内での工事ですので、学校の授業に支障のない形で工事を実施しました。工事を実施するときには、児童生徒の安全面を確保していく必要があります。今回の増築工事では、エリアを区分し、工事車両等の進入はすべて専用のゲートを設けて、そちらから出入りして工事を行っています。また、大きな音が出るといった工程もありますので、学校と工事施工者と協議した上で、学校運営に極力支障がないような形で工事を実施してい

ます。

<委員からのご意見> 授業期間での校舎増築であったこと、通常の工事同様に児童・生徒の安全に配慮したことや学校との協議があったことが分かりました。授業期間中の工事については、子どもたちへの配慮や学校との協議など、特別に配慮が必要なことは、今後のためにも引き継いでいかれることを期待しています。

332、333、334「学校施設環境整備事業」

337「学校施設維持保全事業」

<委員からの質疑> 4つの事業ですが、いずれも評価がDですが、これはなんとかならないのかなというのが正直なところです。例えば、333の空調設備整備に関してどのような予算取りになっているのかということをお教えください。出所が国の交付金で補正予算というのがある。また、補正予算以外の国の交付金もおそらくあると思いますが、そもそも、空調設備整備にしか使えない予算なのか、それとも大きく取った中で空調設備整備に関してはこれだけというような決め方をしているのか、その辺りの詳しい事情をお聞かせいただければと思います。

<回答：学校施設課> 空調設備事業の財源ですが、こちらは文部科学省の国庫補助金と地方債の特定財源を活用して実施している事業です。国費に関しましては、実施を予定している前年度に各学校名と事業名をあわせて事業計画を出します。そのうえで、国で採択が行われ、内定がきて、国庫を使った事業を実施できるという流れです。市のほうで国からおりてきたお金を配分するということはできない状況です。

<委員からの質疑> 評価がDになっていることについて、予算が確保できなかったということの評価の対象にすると、どうしても評価が低くなってしまいますので、確保した予算の中でできたことを自己評価したほうがいいのではと考えています。計画通りに実施できない中でも色々とされているので、そのようなところを自己評価に入れてもいいのではと思います。例えば、予算が決まった後に目標を変更するといったことは可能なのでしょうか。

<回答：教育総務課> 学校施設課で再整備計画を作っており、その計画に基づいた評価ということで、このような評価となっています。Dという形で表現をしていますけれども、施設関係事業を含め予算に関係するものは、予算獲得ができた時点でほぼ100%実現できていると感じていますご指摘のように予算獲得ができた範囲の中で、どれだけできたかという視点も重要だと思いますので、今後、評価については委員のご意見をいただきながら、改善をさせていただければと思います。

<委員からのご意見> これらの事業はいずれもD評価でした。事業の評価については、国からの補助金をあてにすることを前提にした評価方法にすると、全くうまくいってない事業に見えますが、実際はそうではありません。ある程度は補助金が十分でないのを想定した評価方法にしたほうが公平ではないかと思えます。

基本方針 多様な学びのできる生涯学習社会を目指します

施策の柱 生涯学習の推進

4 1 1 「生涯学習推進事業」

<委員からの質疑> 運営について検討している生涯学習活動推進室では、生涯学習事業の参加者や市民講師として登録している人のみが対象で進める予定でしょうか。また、今の時点で決まっている具体的な取り組みがあれば教えてください。

<回答：生涯学習総務課> 生涯学習活動推進室は藤沢公民館労働会館等複合施設の中の一室として想定しています。主な機能としては3点想定しています。1点目は市民のための学習相談情報の提供、2点目は生涯学習総務課で運営を行っている生涯学習大学を推進室に完全に移すこと、3点目は様々な学習グループの交流の場の提供です。100平米弱というスペースですので、利用については一定の制限をかけることも必要と考えていますが、基本的には学びたい方が集う全市的な生涯学習の推進を目的とした場所として位置づける予定です。

<委員からの質疑> この事業と431 公民館運営事業で、どちらも課題のところに藤沢型地域包括ケアシステムが出てきますが、それとのからみを今後どのように考えているかお伺いしたいと思います。

<回答：生涯学習総務課> 現在、福祉健康部で進めている藤沢型地域包括ケアシステムですが、これは誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らしていける街づくりを目標としています。そのためには、地域の課題をその地域で解決できるしくみ、またそのために活動する人材育成ということが緊急の課題となっています。公民館生涯学習大学は、もちろん個人の学びを支援する目的ですが、その学びをさらに地域に還元していくサポートをすることが使命と考えています。また地域で暮らしている方には介護、相続、生きがい、子育て、ボランティアなど様々な不安や疑問を持っている方がたくさんいると思いますが、そういった不安材料を少しでも軽くしていくような事業を展開することで地域力が高まり、地域のマンパワーに少しでも繋がればと考えています。

<委員からのご意見> 生涯学習活動推進室が実施されれば、全市的な生涯学習活動の推進が図られると思いますので、とても楽しみにしています。

施策の柱 多様な文化をつなげる学習機会づくりの推進

4 3 1 「公民館運営事業」

<委員からの質疑> 公民館あり方検討会からの提言書に基づいて公民館事業への職員の関わりについての調査・検証を行ったとありますが、具体的な内容について教えてください。

<回答：生涯学習総務課> 市民センターと併設している公民館については、非常勤職員が中心となって事業の運営を行っていますが、それに対して正規職員がどれだけ業務に関わっていけるかという点を具体的な数値もあわせて調査しました。それとともに、館長や担当職員にヒアリングを行い、各館それぞれが抱える課題を吸い上げる作業を行いました。その結果、公民館の運営は、足並みをそろえる部分と、地域性に応じる部分の両面性が必要だとわかってきました。検証はこれからも継続して行うことで、正規職員の役割をさらに検討していきたいと思います。

<委員からのご意見> 公民館のあり方について、足並みをそろえる部分、そして地域性を生かした部分が必要だというのは同感です。上手くいっている館のしていることを全て真似す

るのではなく、地域の特色を生かした形を考えていってほしいと思います。

<委員からのご意見> 公民館は、様々な世代にとって学びの場所となる可能性をもっていると思います。さらに、多様な市民にとって開かれた場所となるよう、声を拾いつつ現代的課題に対応した公民館運営を期待しています。

基本方針 郷土文化資産の保全・活用と地域に根ざした文化芸術活動の推進を図ります

施策の柱 文化芸術活動の支援

517「文化ゾーン再整備事業」

<委員からの質疑> 評価の理由に基本構想策定につながる動きまでには至っていないとありますが、何が問題となっているのか、具体的に教えてください。

<回答：文化芸術課> 文化ゾーンの再整備は、第2次藤沢市公共施設再整備プランに位置づけて周辺施設の機能集約や複合化を検討していますが、その中で、文化ゾーンの中心施設である藤沢市民会館の建物調査を今年度行う予定です。今後の方針はその建物調査の結果をふまえて判断をしていきたいと考えていることから、基本構想策定につながる動きまでには至っていないという結果になります。

<委員からのご意見> 文化ゾーンというのは、地域の雰囲気に関わる大切な事業だと思います。文化施設や文化活動など、芸術活動を支え活性化させることはとても重要ですが、文化の拠点となるような空間づくりという視点も充実していくような取り組みも期待しています。

<委員からのご意見> これは図書館の整備にも関係あることだと思いますが、是非「これからの図書館検討委員会」の結果を事業に活かして頂ければと思います。

基本方針 健康で豊かなスポーツライフの環境整備を行います

施策の柱 健康づくりの推進

611「健康づくり推進事業」

<委員からの質疑> 健康づくりトレーニングとはどのようなことを行うのでしょうか。また、平成28年度の総合評価に次年度見直しとありますが、どのように見直しするのでしょうか。平成29年度事業計画に平成30年度委託事業変更に向けての事業内容の検討とありますが、現在どのような委託内容となっているのか教えてください。

<回答：健康増進課> 健康づくりトレーニング事業は藤沢市保健医療財団に事業を委託しています。生活習慣病予防と重症化予防を目的とした健康支援プログラムの一環として、6か月間個々の健康状態に合わせたトレーニング指導や、自宅等のできる運動指導を行っています。見直しについては、継続した利用者が多い状況のため、より多くの人を利用できるよう他機関との連携の在り方や実施方法、利用期間等について検討を進めているところです。現在の委託内容は、健康度体力度チェックについては生活習慣病にかかる健康診査や体力測定、運動負荷試験等を行っています。今後は様々な関連機関との連絡を取りながら、保健医療財団のみならず、いろいろな健康チェックができるように検討を進めているところです。

<委員からのご意見> 健康で豊かなスポーツライフはすべての市民にとって大切だと思います

す。どの世代にとっても利用者が利用しやすく、また身近であり、幅広い世代の方に利用されるよう、丁寧できめ細やかな事業運営を期待しています。

施策の柱 スポーツ環境の充実

6 2 1 「子どもの体力向上対策事業」

<委員からの質疑> 体力・運動能力テストの結果分析の元に行われた具体的対策をお聞きかせください。

<回答：教育指導課> 小学校では、藤沢市小学校教育研究会の体育部の教員が、さまざまな種類の鬼遊びを各学校に資料提供して体育の授業に取り入れて運動力の確保をしたり、休み時間に校庭に出て遊ぶことを推奨したりしています。中学校では、藤沢市中学校教育研究会の保健体育部が中心となって、体育の教員が授業でパービージャンプを取り入れるなど、運動の持続や体力の向上を目指しています。

<委員からのご意見> 体力・運動能力テストの結果が毎年全国平均を神奈川県が下回っている中で、多少なりとも体力向上の工夫がほしいと思います。

基本方針 多文化・多世代が交流し、共生するコミュニティづくりを推進します

施策の柱 多文化・多世代の交流の推進

7 1 1 「多文化共生推進事業」

<委員からの質疑> 事業内容で、子どもたちを中心にとありますが、開催場所が1か所であるために、市内全域より子ども（小学生）の意思で参加するのは難しいのではないかと考えます。また、外国籍の保護者の方にも伝わるようなチラシや宣伝は行われているのか、具体的な周知方法を教えてください。

<回答：人権男女共同平和課> 周知の方法は、広報ふじさわ、チラシ等を湘南台地区の小中学校、外国籍に繋がりのある市民が多く集まる日本語教室等に配布をしているところです。藤沢市民だけでなく、市外の方も参加しています。多くは口コミで広がり、参加しているようです。小中学生が対象とありますが、実際には保護者の参加や、大人の参加希望もあるので、家族での参加も含めてより多くの方にご参加いただけるようにと考えています。

<委員からのご意見> 多文化交流イベントの開催について、より広い地域で参加者が増えるように、工夫をしていただきたいと思います。市民の口コミの力でより広まっていくように、これからも呼びかけをしていただきたいと思います。

施策の柱 学校・家庭・地域等の連携、協働の推進

7 2 3 「放課後子ども教室推進事業」

<委員からの質疑> 平成28年度藤沢市子どもの居場所に関するアンケートの特徴的な結果について教えてください。最近では、地域の縁側など取り組まれていることから、地域住民と子どもの交流の場を提供する考えはあるのか教えてください。

<回答：教育総務課> 青少年課が出席していないため当課でお答えいたします。子どもの居場所アンケートですが、放課後や夏休み中の児童の過ごし方や、居場所のニーズについての

アンケートを公立小学校の全児童とその保護者を対象に行いました。放課後の過ごし方で、自宅、友人の家や習い事、放課後児童クラブ、地域子どもの家などのほか、家族や友人と公園で過ごす等が、回答から見えてきました。また、保護者側の6割は子どもたちが友だち同士で遊ぶ、習い事と遊びのバランスが取れている、現状の放課後の過ごし方で満足が得られていると回答しています。ニーズとしては、専門的な講師が教えてくれる講座の開催や異世代間交流が図れる機会の実施、地域子どもの家の利用時間の延長などが意見としてあがってきています。地域住民と子どもたちの交流とですが、放課後子ども教室では、地域のボランティア活動をしている人が見守り人としてご協力いただいている状況です。地域運営団体やPTAなどの協力を得て事業を行っています。地域との交流を求める意見もあったので、今後も様々なニーズに合わせた事業を考えていきたいと思えます。

基本方針 命を守る「教育の推進」「教育環境の整備」「コミュニティづくりの推進」を図ります

施策の柱 命を守る教育環境の整備

824「通学路安全対策推進事業」

<委員からの質疑> 危険箇所はどのように抽出しているのでしょうか。また、保護者や地域で見守る人などの声を聞いているのでしょうか。実際に危険区域の対策が済んだあとは、ソフト面での対策も必要となってくると思いますが、具体的な支援はどのように行われているか教えてください。

<回答：学務保健課> 危険箇所の抽出は、毎年、各学校に年度初めにお願いして抽出してもらっています。各学校の実情にもよりますが、基本的には保護者や通学路途中で見守りをしてもらっている地域住民の声も十分反映させているところです。そこであがってきた情報を元に、保護者等と実際に現場へ出向き、確認をして状況を把握して対策を検討し学校へ報告しています。合同点検をして、安全対策もだいぶ進めてきました。グリーンベルトなどの取組も進んできているなど、ハード面の充実をかなり図ってきましたが、設備的に補えない場合は、通学ルートの変更などについての提案をさせてもらっています。

<委員からのご意見> 危険箇所の点検と安全対策が着々と図られていることがよくわかりました。今後も常に見直しを繰り返し行ってほしいと思えます。さらに、地域のこどもの安全にかかわる活動をしている団体や個人の立場からすれば、学校から積極的に連携の働きかけを行うよう指導助言してほしいと思えます。地域の団体で見守りをしている方々は、学校から声をかけると大変喜んで活動されます。

825「学校防犯対策強化事業（こども110番・安全マップ）」

<委員からの質疑> 古くなった看板の更新がどの程度進んでいるのか教えてください。また、子どもが、この看板を提示している家に実際に助けを求めてきた事例や件数についても伺います。

<回答：防犯交通安全課> 子ども110番の看板の更新は、掲示者から交換の申請があった時や、地域のパトロールをしている際に古くなった看板を発見した時には交換をお願いして

います。更新の数値は特に把握は行っておりません。実際に子どもが助けを求めた事例は、平成 13 年に本制度が開始しましたが報告はありません。

<委員からの質疑> 地域安全マップ指導員養成講座は、以前より行っていた取組か、また、昨年度何校の参加があったのか教えてください。

<回答：教育指導課> この事業は毎年行っています。小学校の教員を対象に実施していて、35 の小学校各校 1 名が出席して養成講座を行っています。

<委員からのご意見> 昨年、古くなったこども 110 番の看板について意見があったと思います。古いものをそのままにしておくのは、少々問題があるように感じました。また、実際に子どもが利用していないという点も気になります。新しい看板の管理方法を含め、今後の方針を検討していただきたいと思います。実際には、地域の協力が必要かと思しますので、簡単なことではありませんが、子どもが安心して遊べる、暮らせる環境整備を進めていただきたいと思います。

<委員からのご意見> 古くなった「こども 110 番の看板」の交換を進めるべきという指摘が以前ありましたが、改善されていないという指摘がなされています。地域の治安の観点から問題がありますので、交換を進めて頂きたいと思えます。

その他

<委員からの質疑> 基本方針の 6 に子どもたちが夢を育み、スポーツに関心を持ってもらうようなオリンピック・パラリンピックに関連する事業を行うとありますが、具体的にどのようなお考えがあるのかお聞かせください。

<回答：東京オリンピック・パラリンピック開催準備室> 3 年後の東京オリンピックでは、江の島でセーリング競技が行われますが、子どもたちにとっても一生の思い出に残るようなオリンピック・パラリンピックにしたいと考えています。その具現化として、学校教育では、小・中・特別支援学校の生徒を対象とした教育プログラムを藤沢市教育委員会と連携し作成しているところです。考え方として事業内容は 2 つに分かれています。1 つはオリ・パラそのものに関する学びで、意義とか、選手の体験やエピソードの学びにあたるものです。もう 1 つはオリ・パラを通じた学びという事で国際平和や共生社会の形成、また、英語などの国際言語の能力を高めるきっかけといったものがあります。今年度は単発の授業として車いすバスケットのパラリンピアンと児童との交流授業を行っていますが、今後も選手との交流やスポーツ体験、藤沢市ゆかりの選手の応援などを行っていきたいと考えています。2020 年の本大会の際には、聖火リレーなどにも子どもたちが参画できる場面を創出することなどが想定されますし、また、現在学校で行われている体育祭や運動会なども実践の場としていくこともできますので、専門部会で具体的な検討を進めていきたいと思えます。

<委員からのご意見> 開催準備室主催の様々な企画や教育プログラムを期待します。さらに子どもも大人も、一生の思い出となるであろうオリンピック・パラリンピックにおいて何か関わり合いを求めて模索していると思えます。自主的な活動のヒントとなるものを様々な用意して、気軽に相談できる窓口を設置していただけたらと思えます。グループ・個人レベル

でも連絡調整を支援することにより、活発な市民参加が期待できると思います。例えばブラインドサッカーや講座や車いすバスケなどの競技体験ならどこに申し入れるかなど、わかるまでが大変でした。